

令和2年度 生命環境学部 環境デザイン学科
推薦入試 小論文問題

[注意]

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号および氏名を必ず記入すること。
- 5 この冊子の問題は2ページからなっている。
- 6 この冊子のうち、落丁・乱丁及び印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 字数制限のある解答では、句読点やカッコ、数字はそれぞれ1字として数える。
- 8 試験開始後60分を経過しないと退室できない。また試験終了前10分間は退室できない。
退室する時は、手をあげて申し出た上で、試験監督者の指示に従うこと。なお、解答用紙は机上に置き、その上に試験監督者が配付する用紙を重ね、問題冊子は持ち帰ること。

1 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(50点)

日本で「環境倫理学」が一般に知られるようになったのは、加藤尚武著『環境倫理学のすすめ』（丸善（株）、1991）によると言えるだろう。加藤氏は環境倫理学の中心点な主張の一つに世代間倫理があると述べる。これは、現在世代は、未来世代の生存可能性に対して責任がある、という主張である。

このような責任があると言えるかどうかを考えるにあたり、加藤氏は、現在世代と未来世代との間に利害関係が存在することを指摘する。そこには配分と引継ぎという基本的な関係があるとして、次のように述べる。

(著作権の関係で掲載しておりません)

こうしたことから、環境を破壊し、資源を枯渇させるという行為は、現在世代が加害者になって未来世代が被害者になるという構造をもっていると考えられる。例えば化石燃料を現在世代が使いきってしまえば、後に残される世代は大量の人口とその生活を支えるエネルギーを別途入手しなければならないという事態に直面させられる。このような行為は現在世代による未来世代の生存可能性の破壊だと加藤氏は指摘するのである。

これに対して、現在世代と未来世代の間には共通の価値観が存在せず、未来世代の価値観を現在世代が代表することはできないという世代間倫理への批判がある。加藤氏は、そのような主張をする人は次のように主張していることになると述べた。

(著作権の関係で掲載しておりません)

問1 上の文章を踏まえた上で、世代間倫理の問題に関する「現在世代は、未来世代の生存可能性に対して責任がある」という主張について、あなたはどのように考えますか。600字以内で論じなさい。

2 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(50点)

(著作権の関係で掲載しておりません)

(出典：栗田勇著、ロバート・ミンツァー英訳『雪月花の心』祥伝社、2008年 ただし、出題の都合上、原文の一部を変更している。)

注) cramped : 狭苦しい, parcel : 区画, a band of bunting : 幔幕, hallway : 廊下

問1 下線部①と②が指摘している内容に沿いつつ、日本の伝統的な住まいの特徴について200字以内で論じなさい。

問2 下線部①と②が指摘する日本の伝統的な住まいの特徴を踏まえつつ、現在の日本の住宅が抱える課題を指摘し、さらに現代住宅のあるべき姿について400字以内で論じなさい。

令和2年度 生命環境学部 環境デザイン学科

推薦入試 小論文問題 正誤表

(誤) 1 2行目

… 加藤氏は環境倫理学の中心点な主張の一つに …

(正)

… 加藤氏は環境倫理学の中心的な主張の一つに …